

# ペダル踏み間違い時加速抑制装置の 試験・評価方法の見直し

# 背景

---

- ペダル踏み間違い時加速抑制装置性能試験・評価方法は、評価導入から3年が経過し、その間に多くの車両で当該装置が搭載され、普及してきている。
- 走行中のペダル踏み間違いや歩行者との事故に対しては、現在の評価方法では対象外となっており、また、導入当時に今後の検討課題として、今後の開発状況を考慮して、これらの導入に向けた検討を進める、とされているところ。

# WG 検討内容

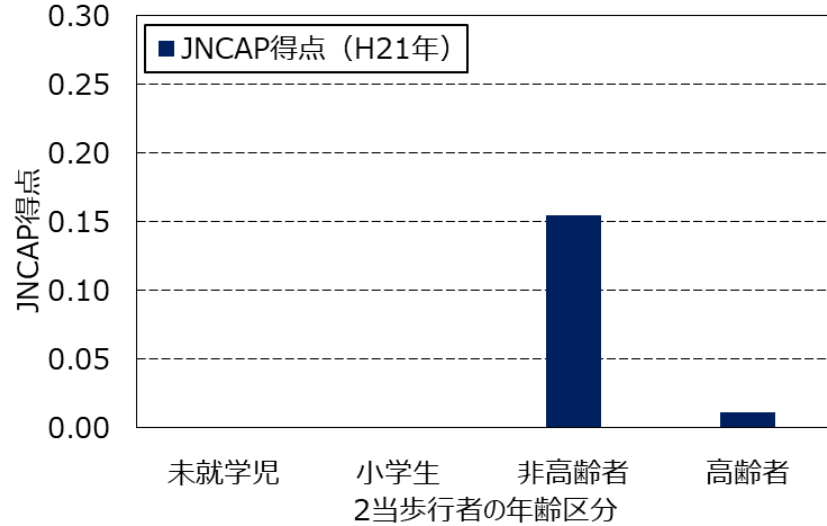
---

- 歩行者との事故について、評価を追加することとし、令和5年度（2023年度）からの新たな試験・評価の開始に向け検討している。
- マクロ事故データ分析により歩行者の年齢区分と進行方向を調査し、歩行者ターゲットの条件を検討
- 実車を用いた調査試験を行い、上記の歩行者ターゲットの妥当性を検討

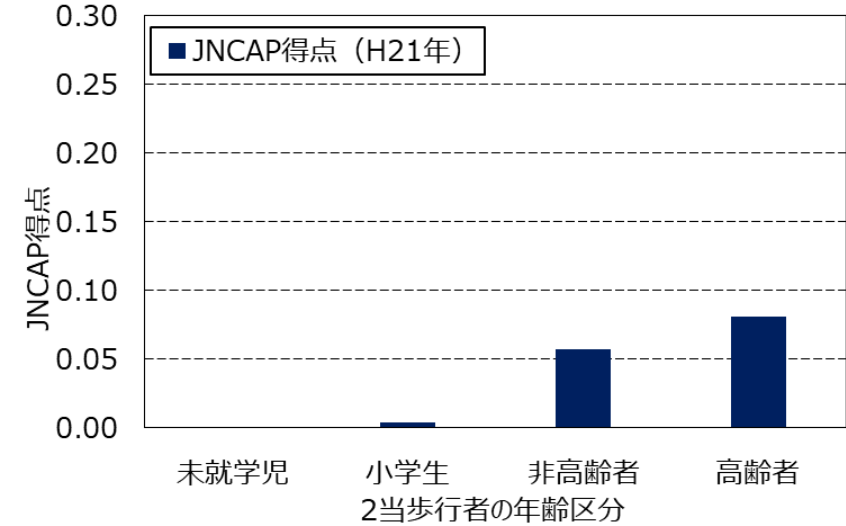
# マクロ事故データ分析の結果（2当歩行者の年齢区分）

※自工会調査

## ● 発進



## ● 後退



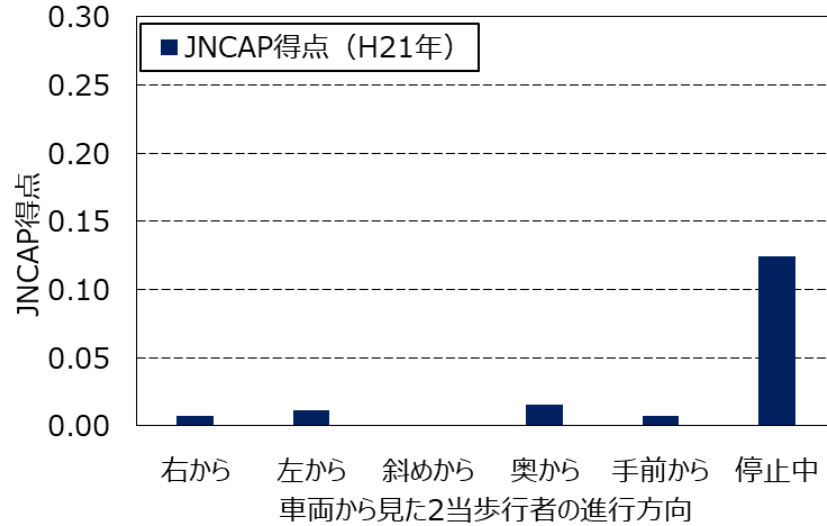
- アクセルとブレーキの踏み違い事故における2当歩行者の年齢区分としては、「発進」「後退」のいずれにおいても、**大人(高齢者、非高齢者)が多い**
- 未就学児および小学生は少ない

⇒事故データ分析から、**「大人ダミー」での評価を開始することが妥当である**と考える

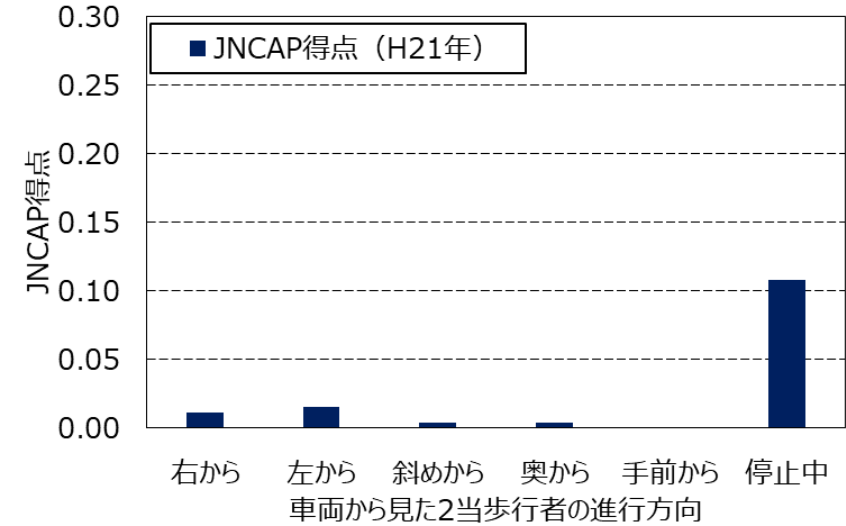
# マクロ事故データ分析の結果（2当歩行者の進行方向）

※自工会調査

## ● 発進



## ● 後退



- アクセルとブレーキの踏み違い事故における2当歩行者の進行方向としては、「発進」「後退」のいずれにおいても、**静止中が最も多い**
- 静止中を除く2当歩行者の進行方向について、車からみた前後方向と左右方向で明確な差はみられない

⇒事故データ分析から車に気付きにくい「背面」で評価が妥当なのではないかと考える

- 調査目的 : 車両の性能把握と歩行者ターゲット条件の影響把握
- 調査車両 : 計9車種

## ○歩行者ターゲット条件

- 歩行者ターゲットの種類
  - 大人（脚部可動ダミー）
    - ※歩行動作はさせず静止状態とする
    - ※対歩行者AEBSで2020年度から使用
  - 大人（静止ダミー）
    - ※対歩行者AEBSで2019年度まで使用
- 車両から見た歩行者ターゲットの向き
  - 横向き
  - 背面



# 調査試験のまとめ

※自工会調査

## ●対物

<停止発進>

ターゲット種類	ターゲット向き	ターゲット位置	A	B	C	D	E	F	G	H	I
ADAC	-	1.00 [m]	○	△	○	○	△	○	○	○	△

<停止後退>

ターゲット種類	ターゲット向き	ターゲット位置	A	B	C	D	E	F	G	H	I
ADAC	-	1.00 [m]	○	○	○	○	△	○	○	○	△

## ●対歩行者 ※大人（可動）は歩行動作はさせず静止状態とする

<停止発進>

ターゲット種類	ターゲット向き	ターゲット位置	A	B	C	D	E	F	G	H	I
大人(可動)	横向き	1.00 [m]	○	△	○	○	△	△	△	○	△
大人(可動)	背面		×	△	○	○	△	△	○	○	×
大人(静止)	横向き		○	△	○	○	△	○	○	○	×
大人(静止)	背面		△	×	○	○	△	△	○	○	△

<停止後退>

ターゲット種類	ターゲット向き	ターゲット位置	A	B	C	D	E	F	G	H	I
大人(可動)	横向き	1.00 [m]	×	×	○	○	△	△	×	○	△
大人(可動)	背面		○	○	○	○	△	○	○	○	△
大人(静止)	横向き		×	△	○	○	△	○	×	○	△
大人(静止)	背面		×	○	○	○	△	○	×	○	△

○：回避

△：加速抑制（速度変化率0.3以上）

×：加速抑制なし（速度変化率0.3未満）

- 車種によりばらつきはあるものの、ターゲット種類と向きで**明確な差はみられない**

このため試験効率も考慮すると

⇒「**大人(脚部可動ダミー)**」、「**背面**」での評価を開始することが妥当であると考え

# 審議事項

## ■ 使用ダミーの種類や向き等について

- **「静止状態」の「大人ダミー」**で評価を開始する。
  - マクロ事故データ分析により歩行者の年齢区分と進行方向を調査した結果、大人(高齢者 + 非高齢者)、静止状態が多かった。
- 歩行者が車両に気づきにくい**「車両から見て背面」**で評価を行う。
  - 車両から見た歩行者ターゲットの向きについては、実車を用いた調査試験を行った結果、上記の歩行者ターゲットで向きを変えても試験結果に明確な差はなかった。
- 試験効率を考慮し対歩行者AEBS試験で使用している**「大人・脚部可動ダミー」**(脚部は動かさない)で評価を行う。
  - 歩行者ターゲットの種類については、上記の歩行者ターゲットで種類を変えても試験結果に明確な差はなかった。





# 継続検討事項

---

- 具体的試験方法の策定
- 歩行者との事故に対応した、得点の見直しを含む評価方法の策定